

プロジェクト名	お気に入りのドイツ語の歌について紹介する
タイプとレベル	「リスニングとスピーキング」 A2～B1、 「ライティングと文法」 A2
期間	1週間以上のインターバルを置いた授業の後半 30 分 2 回分と宿題＋発表会
対象者	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生（後期の後半に実施）
計画面 （課題、目的、学習対象、 利用可能なツール、技術的 な前提、進行プラン例）	課題 : 個人作業あるいは、2 人のペア作業で、インターネットで自分（たち）の気に入ったドイツ語の歌を捜し、日本語とドイツ語の歌詞カードを作るとともに、その歌に関する基本情報やエピソード、その歌の魅力、日本の歌との違い等について説明する。プレゼンテーションでは、最後にその歌を実際にクラス全体で鑑賞する。 目的 : 1) いくつかのツールを組み合わせ、ドイツ語だけで必要な情報にたどり着く訓練をする。2) ドイツ語のテキストを読んでその内容を理解する（A2～B1 レベルの reading）、3) ドイツ語の文学的なテキストの翻訳を試みる。（A2 レベルの writing）、4) 新出語彙の発音を自分で調べ、発音できるようになる。 利用可能なツール : 学生 : Google、YouTube、ドイツ語圏のインターネットラジオ、ドイツ語の歌の歌詞検索サイト Songtexte.com・Lyrics、Glosbe・Reverso Dictionary などのオンライン辞書各種、漫画コマ割り作成用のアプリ Strip Designer、Word、PowerPoint 等。 教員 : iSLCOLLECTIVE 技術的な前提 CALL 教室等が使えれば望ましいが、最低限、教員用 PC が 1 台ネットに接続でき、その画面を音声とともに提示できれば良い。 プロジェクト進行プラン ① 準備 : 1) あらかじめドイツの歌で知っているものを挙げさせ、クラシック（歓喜の歌）やリート（鱒、菩提樹、もみの木）の他に、現代の曲があることも説明。その上で、たとえばカラオケにもある 99 Luftballons（Nena/ 1983）や Fata Morgana（Neonbabies/ 1983）や Dschingis Khan（Dschingis Khan/ 1979）あるいは、Die Stadt（Klee/2006）あるいは Die Toten Hosen 等の最近のヒット曲などを紹介する。① 第 1 回 : 音楽のジャンル名に関するドイツ語をクラス前提で確認する。その上で、こうした各種ジャンルでまだ知られていないドイツの曲を発掘し、2 週間後にクラス全員に紹介するという課題

	を出す。 ① ドイツ語のラジオの音楽番組を一定期間聴くか、ドイツのヒットチャートのサイトを見るか、あるいは、Google などのサーチエンジン上で ドイツ語の歌 最近 ヒット あるいは Rangliste deutsch Schlager 2018 等のキーワードを入れて出てきたページで探すなりして、最近の流行っているドイツ語の曲名を調べさせる。(調べ方については、準備段階の作業時に教員が実際にデモをしてみせるといい。) ② 曲名がわかったら、それを使って、YouTube のビデオクリップ等や音楽通販サイトから部分的に提供される販売促進用のデモ音源を探し、実際に聞いて、気に入った物を捜す。 ③ 第2回：曲が決まったら歌詞の検索サイト Songtexte.com や Lyrics 等の歌詞検索サイトへ行き、歌詞を手に入れるとともに、その曲についての基本情報（作詞、作曲、長さ、ジャンル、リリース年、ヒットソングの場合は、売り上げ枚数や受賞歴など）を集める。 ④ 少し間違えてもいいし、意識も OK なのでその歌詞のおしゃれな翻訳を試み、Strip Designer、Word 等使い、独日バイリンガルの歌詞カードを作る。可能なら、さらに、ネット上を調べてこの歌に関するエピソード的な情報を集め、数行の説明文を日本語またはドイツ語で書く。 ⑤ 発表会：クラスの前で曲を紹介し、参加者全員に1人2票与えて、最後に、良かったと思う曲に投票させる人気投票も実施する。
ポイント	1) 最初に本プロジェクトの課題と期日を明示しておく。 2) 教員が最初にデモする際に、どうやってそれに至ったかという形で、曲名の調べ方、曲の聴き方、歌詞の入手法について説明するとともに、学生が同じステップを試せるような、簡単なメモも作っておくといい。